

濟ノ石炭ハ翌年度ニ持越シ賣却ノ節其年
 度ノ收入ニ相立候外無之左スレハ收益ノ
 豫算ニモ相関シ不都合ノ旨ニ有之按スル
 ニ賣却キ未濟ノモハ其儘翌年度ニ持越
 シ其賣却キタル片收支ノ計算ヲナシ益金
 ヲ上納スルハ當然ニシテ未夕賣却カサル
 モノヲ以テ他ヨリ其代價ヲ借受ケ豫シメ
 損益ノ計算ヲ立テ益金ヲ上納スルハ實
 際賣却ノ節ニ至リ差違ヲ生スルハ必然ニ
 シテ自然出納ノ混雜ヲモ生スヘク會計上
 ニ於テ尤モ忌ムヘキノ方法ナリ候テカラ
 談省ニ於テ此方法ヲ行フテ久シキ故ニ
 俄ニ之ヲ改メントスル片ハ又計算上ノ不

都合モ可有之且前件賣却未濟ノ炭價ハ其
 營業ノ資本額ヨリ多キヲ以テ假令今之ヲ
 改正スルモ資本ノ運用上ニ於テ繰替ヲ要
 求スヘキニ付該年度ノ義ハ伺ノ通御許可
 可相成十四年度ヨリ改正ノ積ヲ以テ左ノ
 通御指令相成可然裁工部省會計主任ハモ
 協議ノ上仰高裁候也

御指令按
 伺ノ趣聞届金六萬五千三百三十六圓
 四拾九錢九厘一時繰替可相渡候條本
 年六月限り悉皆返納可致尤十四年度
 以降ハ從來ノ計算法ヲ廢シ産炭賣却
 ノ年度ニ於テ其代金收入ニ相立益金

上納候様取計フベシ
明治十五年正月廿六日

大藏省、取寄

別紙工部省何三池渡山分向
三多分産産末收大倉橋海
成集手向及指人等
幸同在念等、西
方分計付与等

工部省取寄

明治十五年一月二十三日

第一局

主任

(備)

馬場

掛系議

(議)

書記官

(官)

別紙工部省上申東京高崎前橋間鐵道
線路實測圖等調整、儀ヲ察スルニ該建築
經費理由書第三項ニ論述スル如ク全線中地
勢及ニ建築ノ状ト經費豫算トヲ三部ニ區分
シ第一ヲ品川ヨリ戸田川ノ西岸川口迄第二